

地域整備方針

(さいたま市)

地域名称	整備の目標	都市開発事業を通じて増進すべき 都市機能に関する事項	公共施設その他の公益的施設の 整備及び管理に関する基本的事項	緊急かつ重点的な市街地の 整備の推進に関し必要な事項
さいたま新都 心駅周辺地域	〔都市再生緊急整備地域〕 ＪＲ大宮駅と与野駅の間に位置するさいたま 新都心駅周辺地域において、旧ＪＲ大宮操車 場跡地や工場跡地の土地利用転換により、国 の行政機能を核とした業務・商業等の高次都 市機能の集積拠点を形成	○国の行政機関を核とした業務機能、にぎわ いと魅力にあふれた商業・文化・アミュー ズメント機能、国際交流機能等を導入 ○地区縁辺部において、都市型居住機能の導 入を検討 ○防災拠点としての機能強化の検討	○地区全体にわたり、誰もが安心して快適に 活動できるよう、２階デッキ等の歩行者ネ ットワークを形成 ○環境共生型都市の構築に向け、雨水・排水 再利用施設整備、透水性舗装、太陽光発電 施設整備等を行うとともに、地域冷暖房施 設を活用	

地域整備方針

(仙台市)

地域名称	整備の目標	都市開発事業を通じて増進すべき 都市機能に関する事項	公共施設その他の公益的施設の 整備及び管理に関する基本的事項	緊急かつ重点的な市街地の整備の 推進に関し必要な事項
仙台都心地域	〔都市再生緊急整備地域〕 藩政時代からの緑豊かで潤いのある美しい「杜の都」の都市環境や、東日本大震災を教訓に培われた高い防災力を活かした「防災環境都市」としての都市個性を基盤として、その質を高めながら都心の機能強化を図り、東北・仙台の持続的な活力の増進につなげることを目指す 「多様なイノベーションが生まれ、働く場所として選ばれる都心」を目指し、高度な都市機能が集積し、国内外からの投資を呼び込む都市空間を形成 「国内外から人が集い交流し、楽しめる都心」を目指し、公共空間と民有地が一体となることで生み出されるゆとりのある都市空間の中に、新たな賑わいや魅力を創出 「杜の都の個性が活きる都心」を目指し、高い防災力と美しい環境を活かした、緑に包まれた憩いと安らぎを生む都市環境の中で、通りやエリアごとの個性が輝く都市空間を形成	○東北の中枢都市にふさわしい高次な業務機能を誘導するとともに、それらを支えアメニティを高めるため、商業・交流・宿泊機能を強化 ○建築物の整備・更新に併せ、歩行空間や緑空間等のオープンスペースの創出や、敷地周辺の無電柱化を図り、ゆとりのある居心地の良い空間の形成を推進 ○「杜の都」にふさわしい魅力ある緑空間を創出するなど、環境に配慮した建築物の整備を促進 ○国内外の企業と大学、地元企業等との交流を促進し、イノベーションを生み出す都市機能の集積を推進 ○大学や研究機関等と連携し、次世代型産業・業務機能の誘導を図るとともに、スタートアップ拠点の形成を促進 ○国内外からの来訪者の多様な活動や交流を支える文化・観光の情報発信機能の充実 ○耐震性が高く防災性に優れ、備蓄倉庫の設置や一時滞在施設・場所の確保による帰宅困難者対策等の大規模災害にも対応できる建築物の整備を促進 ○都心部の浸水対策を強化するため、雨水流出抑制施設の整備を促進	○都心の回遊性と都心へのアクセシビリティの向上を図るため、歩行者や自転車等が快適に移動できる道路空間の整備を推進 ○新たな魅力や賑わいを創出するため、道路の再構築等で生み出された空間とその周辺の空間が一体となったウォーカブルな都市空間の形成を推進 ○東北・仙台の交流と情報の拠点として、仙台市役所本庁舎の建替えと併せて、勾当台公園市民広場等と一体的な空間の形成を推進し、まちの更なる賑わいを創出 ○都心部の浸水対策を強化するため、既設幹線管渠を増補する雨水幹線の整備を推進 ○防災性が高く、都市景観に優れた街並みを形成するため、無電柱化を推進	○建築物の低層部へ賑わいを創出する商業・サービス機能の導入や立地特性に応じたオープンスペースの確保により、回遊性が高く魅力的な都市空間の形成を推進 ○建築物や公共空間の整備において、通りやエリアの特性を活かした「杜の都」にふさわしい風格や品格ある景観や、歩いて楽しく、居心地の良い街並み景観の形成を推進 ○緑の多機能性を活かした「杜の都」にふさわしい緑空間を創出し、賑わいや憩い、安らぎを生み出す豊かな都市空間の形成を推進 ○IoT や AI、ロボット等の未来技術と防災・減災、エネルギーなど幅広い分野との融合による X-TECH イノベーションを推進 ○大学・専門学校等の教育機関と連携し、人材・知的資源等の集積・活用を推進 ○官民連携による大規模災害を想定した訓練の実施や、地域内企業の事業継続計画（BCP）作成を促進する等、都市防災力の向上を推進 ○大規模災害に備えた企業リスク分散の観点からも選ばれる、安全・安心で快適な都市環境の構築を推進 ○脱炭素社会の構築に向けて、エネルギー効率の高い市街地の整備を推進 ○地域特有の魅力を活かし、地元まちづくり組織を中心としたエリアマネジメント等、積極的な地域との協働事業を推進

地域名称	整備の目標	都市開発事業を通じて増進すべき 都市機能に関する事項	公共施設その他の公益的施設の 整備及び管理に関する基本的事項	緊急かつ重点的な市街地の整備の 推進に関し必要な事項
仙台都心地域	〔特定都市再生緊急整備地域〕 東北をグローバルに牽引する中枢都市であるとともに、世界を先導する防災環境都市として、高度な都市型産業が集積し、都市防災力の高い国際ビジネス交流拠点を形成 東北各地との広域連携や、官民の多様な主体と連携し、グローバル企業や MICE の誘致等、世界からの誘客を図り、国際的な交流や賑わいを生み出す都市空間を形成	○国際的なビジネス環境の形成に資する高機能オフィスの整備を促進するとともに、都市の防災力や安全性を一層強化 ○産学官が連携し、仙台の発展を牽引する ICT 関連企業や次世代放射光施設関連企業等が集積した、国際ビジネス交流拠点の形成を推進 ○世界からの来訪者、滞在者の活動拠点として、魅力ある商業機能や国際水準の宿泊機能、コンベンション機能を誘導 ○多様な国籍、文化、世代の来訪者に、東北・仙台の魅力を広く発信するため、多言語による情報発信機能や交流機能等を備えた観光交流拠点の形成を推進	○東北・仙台の玄関口である仙台駅周辺において、高速バス等の乗り継ぎ利便性や快適性、定時性の向上に資する交通結節機能を強化 ○国内外の来訪者の回遊性向上を図るため、多言語による案内サインや、デジタルサイネージ、Wi-Fi 環境の整備、MaaS の導入を推進 ○「社の都」を世界に発信するため、都心部の更なる緑化を推進し、緑陰など潤いのある心地よい空間や緑を楽しむ魅力ある空間を創出 ○東北・仙台の多彩な文化等を体験し交流する空間を創出	○土地の高度利用を図るため大街区化を推進し、国際競争力強化に資する高次な業務機能や商業機能を集積 ○企業等のバックアップ機能や、多様な防災機能を有する災害に強い都市空間の形成を推進 ○国連防災世界会議で採択された仙台防災枠組に基づく取組を推進し、世界へ「防災環境都市」としてのブランド力を発信 ○脱炭素社会の構築に向けて、環境に配慮した建築物や先導的なエネルギーマネジメントシステム等の導入を推進 ○ハード・ソフトが一体となった魅力や賑わいを創出する都市空間を形成するとともに、エリアマネジメント等による継続性確保を推進

地域整備方針

(岐阜市)

地域名称	整備の目標	都市開発事業を通じて増進すべき 都市機能に関する事項	公共施設その他の公益的施設の 整備及び管理に関する基本的事項	緊急かつ重点的な市街地の 整備の推進に関し必要な事項
岐阜駅北・柳ヶ瀬通周辺地域	〔都市再生緊急整備地域〕 中京圏における交通の要衝として発達した岐阜市の都心部において、商業をはじめとし多様な都市機能を備えたにぎわいある複合市街地を形成 J R岐阜駅北地域においては、繊維卸売り機能を主体とする市街地の再編により、また、柳ヶ瀬通周辺地域においては、建物の共同化等により、都市拠点を形成	○岐阜駅北地域の東側においては、商業機能、業務機能を強化し、西側においては、卸売り商業機能を再編するとともに都市居住機能を導入 ○柳ヶ瀬通周辺地域は、駅北地域の東側と連携した商業機能を強化 ○駅前広場をはじめとし、交通結節機能を強化	○水と緑を主体とする環境づくりに配慮しつつ、バスターミナルの集約化等を図る駅前広場を整備 ○駅周辺における歩行者用デッキの整備など、ゆとりと憩いのある歩行者空間を充実	○駅前広場に面した地域においては、1階部分における壁面後退により、また、2階部分における歩行者用デッキとの一体整備により回遊性の向上等を図るとともに、建物の高さや色の調和等の景観に配慮した都市開発事業を促進 ○金華橋通や長良橋通の沿道、柳ヶ瀬通周辺地域においては、建築物の低層部への商業・交流機能を導入と壁面後退により、賑わいや界限性を創出する都市開発事業を促進 ○大規模災害に備え、都市開発事業の促進により、建築物の不燃化、耐震性の向上、延焼防止等を図り、災害に強いまちづくりを推進 ○備蓄品の増強や、J R岐阜駅周辺施設との連携促進による滞在者の退避施設の確保などにより、帰宅困難者対策を強化

地域整備方針

(福井市)

地域名称	整備の目標	都市開発事業を通じて増進すべき都市機能に関する事項	公共施設その他の公益的施設の整備及び管理に関する基本的事項	緊急かつ重点的な市街地の整備の推進に関し必要な事項
福井駅周辺地域	〔都市再生緊急整備地域〕 福井市は日本海側の中心に位置し、2023 年春の北陸新幹線福井(敦賀)開業により、日本海国土軸が形成されるとともに、関東圏と直結することから、交流人口の増加が見込まれる。また、日本海側の空と海の国際拠点である小松空港および敦賀港と概ね 30 分以内で連絡可能となることから、これらの施設との連携を強化し、環日本海諸国からの人の流れ、インバウンドを取り込み、都市の活性化を目指す。 福井駅周辺はかつての城郭の範囲に、行政、業務、商業、交通結節機能等、様々な都市機能が集積しているという特徴を活かし、歴史と文化を継承し、県都にふさわしい魅力と風格のあるまちづくりを目指す。 多様な都市機能と魅力ある都市景観を備えた複合市街地を形成	○ 交通結節点の利便性を活かした駅前業務拠点の形成と、MICE 機能、インキュベーション機能等の業務支援機能を誘導 ○ 企業の事業継続計画（BCP）対策ニーズに配慮した建物の整備 ○ 多様な居住ニーズに対応し都市型居住機能の導入と業務、居住などの日常生活を支える生活利便施設の充実 ○ 中心市街地の賑わいの核となる観光、商業、業務、宿泊および駐車機能の強化・充実	○ 福井駅から観光地までの交通利便性を向上させ、在来線、地域鉄道、バス等の交通結節拠点機能を強化したネットワークを形成 ○ 滞在型観光を促進するための自家用車および大型バス駐車場を充実 ○ 駅周辺の歴史資源と商業、業務エリアを結ぶ回遊性を高める歩行者ネットワークを強化 ○ 建替え更新にあわせ、歩行空間やオープンスペース、緑地等を整備し、ゆとりある心地よい空間を創出 ○ 地方大学と連携し、中心市街地でサテライトキャンパスを開講することにより、若者を街中に誘導し、賑わいを創出	○ 県都の顔となる魅力的な景観形成に配慮した都市開発事業を促進 ○ 官民連携のエリアマネジメントによるまちの魅力と賑わいを創出 ○ 地域活性化およびまちづくりの推進に寄与するクラウドファンディングの活用 ○ 「繊維王国福井」の繊維技術、製品および、ふくい「食」ブランドをアジア、欧米に広く情報発信し、インバウンドを強化